



がくじ



摂南大学図書館報

No. 53

1998.4

学而時習之、不亦説乎。（「論語」より）

—学びて時にこれを習う、亦た説ばしからずや—

*題字は王羲之の書による

新入生のみなさんへ

—読書で学問の楽しさ心の豊かさを—

学 長

く り や ま せん の す け
栗 山 仙 之 助

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。今、自らの意思で選択した専門分野に対して、希望と不安が入り混じっていることと思います。さて、みなさんはもう図書館に足を運びましたか、自分の専攻に関する書架を見て、その冊数の多さに圧倒された人も多いでしょう。卒業するまでにこんなに読めるのだろうか、難しくて分からないのではと感じたかもしれません。

しかし、よくしてみると1つのテーマに関して何冊もあったり、「入門」と書いてある比較的平易なものもあることに気づかれるでしょう。これらは、一つの事柄をいろいろな視点で解説されたり、様々なレベルで説明されているものです。みなさんは、このような図書によって自分の理解に合わせてより深く、そしてより高い次元で専門知識を身に付けることができるのです。

「知恵は万代の宝」とも言われます。図書を利用することで、講義内容に高い関心が湧き、学問の修得の充実感を増すことができます。また、難解な図書については、昔の人が次の言葉を記して

います。

「読書百遍義自ら見わる」（どくしょひゃっぺんぎおのずからあらわる）これは、どんな難しい書物でも何度も読むことで自然と理解できてくるということです。みなさんがどんどん知識を吸収して、学問の楽しさを実感されることを期待しています。

図書館は専門知識の蓄積以外にも大事な書籍を蔵しています。小説や、エッセイ、哲学などの心を磨き、豊かにするための本が多く用意されています。あるテーマについて、歴史、思想、技術を調べたり、ある著者の書籍を網羅してみるのも有益です。若い時に集中して何かをすることは、個性の形成により影響があります。いろいろな方法で図書館を利用して下さい。

この様にして、みなさんが学生時代に感動できる多くの経験をされ、「知」「徳」「体」の備わった立派な人間に成長されていくことを楽しみにしています。

（経営情報学部教授）

～ 目 次 ～

新入生のみなさんへ（栗山仙之助）	1
新入生に贈る図書館利用のすすめ	2, 3
（井上雅彦・田中健二・柿沢昭宣・藤森廣幸・松永信一）	
新入生に贈る卒業生からのアドバイス	4, 5
（向井伸行・木下勝之・與那城京子・中井順士・大谷真司）	

自著を語る「水の消毒」（金子光美）	6
自著を語る「エミリー・ディキンソンを読む」（岩田典子）	7
後期休日開館結果と今後の予定	8
後援会寄贈図書	8

新入生に贈る図書館利用のすすめ

大切にしたいもの

工学部電気工学科助教授

いのうえ まさひこ
井上 雅彦



図書館の蔵書は多くの人を読むものであるから汚したり破ったりすることのないよう大切に扱わなければならない。それは当然そうであり、書き込みなんてとんでもないことなのだが、たまにひどく得した気にさせてくれる書き込みに出会うことがある。例えばあなたがあるタイプの微分方程式が解けなくて四苦八苦していたとする。どうしても最後の式変形がわからない。図書館でいくら

調べてもどこの本もどこの本も肝心な所をあたり前のようにすっとばしている。そういう時、誰か知らぬがある先輩が途中の式変形を書き込んでくれている本にあたると大層幸せである。場合によっては文中のミスプリを修正してくれていたりする。ああ、この人もこの部分で苦労したんだろうな、自分だけではなかったんだと束の間の共有感覚に浸ってしまうのである。たとえ書き込みが無くても同様の気持ちになることがある。手垢である。ある本の自分がわからない、むずかしい部分が手垢で汚れていたりするとやはり大層勇気づけられるものである。電子出版が流行っている昨今、誰でも自宅のパソコンから色々な情報を引き出すことができるようになった。とはいっても、当分の間図書館の本には勝てないだろうなと私は思うのである。

書架を「ながめる」こと

国際言語文化学部助教授

たなか けんじ
田中 健二



図書館へ行くには2つのタイプがある。1つは明確な目的を持って、つまりレポート作成準備とか調べもので図書館を訪れる場合である。もう1つは特定の目的なしで図書館の開架されている本を「ながめる」場合である。無目的で図書館の書架をぶらついている時に、びっくりするほどおもしろい本に出会うことがある。私にはなぜだか分からないし、ぶらついたらず画期的な本とめぐりあうと決まってもいいが、新入生諸君にはぜひ書架を「ながめる」ことを勧めたいのである。幸いなことに大学はかなりのスペースを図書館に割り当て、学生諸君の到着を歓迎する。あとは学

生諸君が「本でもながめてみるか」という気持ちのゆとりを持って書架に出向くことだ。必ずや本たちは笑顔で学生諸君と会おうとしてくれるはず。つまり、そう想像して本棚の間をめぐり歩いてみよう。

図書館と わたしの学生時代

経営情報学部助教授

かきさわ あきのぶ
柿沢 昭宣



わたしは学生時代図書館をあまり利用しなかったようにおもう。書物がきれいだったわけでは決していない。その反対である。学生時代のわたしの一番の夢は、懐に10万円ぐらいを用意し、本屋へ行って手当たりしだいに好きな本を買ってみたい、というものだったからである。ちなみに、当時の

初任給は3万3千円が相場であった。わたしの読書はもっぱら自己の蔵書によっていたのであり、したがって古本屋はよく利用させてもらった。わたしが図書館をあまり利用しなかったのは、いわゆる「しんきくさかった」のである。まず第一に、図書館にはわたしの読みたい現代小説や現代思想の書物はほとんど置かれていなかった。つぎに、読みたい本があったとしても、図書カードを探したり、貸し出し票に記入するのが嫌だった。最後に、司書たちがなんとなく恐ろしかったのである。彼もしくは彼女たちはかすかな権威をひけらかして、わたしたち学生を圧倒していたからである。

だから、教科書を買うことさえためらうという今の学生諸君の方が逆によほど図書館を利用してゐるのではないかとおもう。これでもまだ図書館の利用者がすくないというのであれば、漫画や小説を自由に読むことができるコーナーを設けてみてはどうだろうか。

図書館 活かすも殺すも君次第!

薬学部衛生薬学科講師

ふじもり ひろゆき
藤森 廣幸



大学の図書館。専門書の山を思い浮かべる? 論より証拠。入館して内部を探検してみよう。確かに、専門書が並んでいる。本は読まなくては価値がない。意味不明の単語が散在する。備え付けの辞書・辞典で意味を確かめよう。一般教養の本、週刊誌や新聞もある。読みたい本が見あたらない。検索システムを利用しよう。その本がない。気軽に図書館員の方々に相談してみよう。購入可能かもしれない。少し背伸びをして英語の学術雑誌を見てみよう。さて、どうする。君のやる気次第です。さらに探検すると、CD、カセット、ビデオを発見するだろう。授業に役立つビデオ。実験に役立つビデオ。先端技術に関するビデオ。見るのは君達です。ワープロも置いてある。キーを叩いて文章を作ってみよう。大学4年間は長いようで短い。講義・実習に追われてしまう。図書館は書庫ではない。早い時期に図書館の有効利用法を

模索しよう。君自身のために。

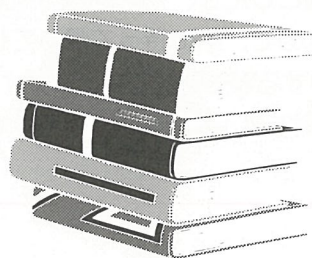
図書館の 「非日常的活用」について

法学部講師

まつなが しんいち
松永 信一



大学での図書館の役割と高校までの図書館のそれとは全く異なる。高校段階までの図書館は学校の日常生活の延長線上で利用されている。例えば、運動場で遊ぶ代わりに図書館にある推理小説を読むとか、修学旅行の下調べをすとか、課題学習や試験勉強の補足教材を探すとかである。これを仮に図書館の日常的利用と名付けるならば、大学での図書館利用の本来的なあり方は「非日常的」とよべるようなものである。図書館の「非日常的な活用」とは、生きていく中で見いだしたテーマ（住居、食生活、健康、親子関係、組織と個人、国家、性等々についての）に知的な方法で結着をつけるためにそれを利用することである。「知的な結着」とは、書籍・雑誌・新聞などの蓄積されたデータから（当のテーマに）関連する情報を抽出、整理することによってそれなりの見取り図や行動指針を獲得することである。私達は生活の中でこうしたテーマを発見するとは限らないし、発見しても知的ではなく、もっと直観的なやり方で処理するのが通常である。従って、上記のような作業を「非日常的」と呼びたい。もっとも大学図書館利用の現状を見れば、「日常的利用」と「非日常的な活用」が入り混じっているというのが正確なところである。



新入生に贈る 卒業生からのアドバイス

新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。
図書館というと勉強する為に行く場所などと思いがちですが、私の場合は結構くつろぎに来ていた時の方が多かったような気がします。講義の空き時間に来て車の雑誌を読んだり、レポートを作るつもりがいつの間にかスポーツ新聞を手持っていた事もありました。もちろん、くつろぐだけでなく、実験のレポートや卒業論文作成、就職活動の対策などで頭を抱えていた事もよくありましたが、何をするにしても広々として落ちついた、快適な空間です。
また、私が利用して便利だなと思ったのか「希

望図書購入制度」です。本屋で気に入った小説やビジネス書を見つけたら、書名や著者名、出



版社などを覚えておいて図書館で申請するだけで、2、3週間もすればその本を貸し出してくれる。何千円もするベストセラ

ーがタダで読めるわけですから、1人暮らしをしていた私にとっては本当にありがたい制度でした。

まだこの他にも図書館にはいろんな制度や設備があります。まず1度足を運んで、図書館を利用して、自分なりの利用法を見つけて下さい。

図書館へ行こう

工学部機械工学科98年卒 三菱重工業(株)勤務

むか い の ぶ ゆ き
向 井 伸 行



図書館は本だけの空間ではありません。図書館である以上、

書籍があるのは当然ですが、私が驚いたのは4Fの視聴覚室の存在でした。そこには数多くのビデオやLD・CD・テープ等があり、暇な時にちょっと立ち寄って時間を価値的に過ごしたり、一部のものを除いて貸し出しはOKなので、家に持って帰ってじっくり見たり聴いたりする事も可能です。ビデオ・LDは“名作”と呼ばれている映画や学術系のもの、その他幅広

くラインナップされており、CDはクラシックから民族音楽・ジャズ等、“いい音楽”が多数あります。そして語学を専攻していた私にとって最も良かったのは語学学習ソフトの充実でした。以上の様に視聴覚室はレンタルビデオショップの様に、それと異なる点は当然の

事ながら、いくら借りても無料という所です。新入生のみなさん、学校の施設は当たり前ですが、学生の為にあるものです。積極的に利用して貴重な四年間を価値的に過ごして下さい。

視聴覚室で 「価値的」時間を

国際言語文化学部98年卒 (株)鶴見製作所勤務

きの した かつ ゆき
木 下 勝 之

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

私の摂大図書館での思い出といえば、1、2回生のころの試験勉強です。3階の閲覧室で友達と夜おそくまで、必死に勉強していました。いつのまにか、同じ学科の人が集まって情報交換の場になっていたり、ヤマをはり合って同盟をむすんだり、大学生活の中で一番つらい試験期間を楽しく乗り越えることができました。

教科書や参考書も購入しないまま図書館で借り

てやりすごしたり、暇でたまらないときには5階で最新の雑誌を何冊も読んだり、長期の休みの前には「地球の歩き方」や旅行雑誌を



読みあさって旅行計画を立てたり、と必要なときに必要な情報を手に入れることができる図書館に

は大変お世話になりました。

みなさんも大いに図書館を利用して、大いに得をして、充実した学生生活を送って下さい。

必要な時に必要な情報を手に入れる

経営情報学部経営環境情報学科98年卒 日本電信電話(株)勤務

よなしろう けいこ
與那城 京子



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

私は薬学部生が図書館を利用せずに進級、卒業する事は、ほとんど不可能であると思います。

実験、実習のレポート作成、期末試験のためのテスト勉強や情報収集と、利用する機会は多いでしょう。実際、試験前にな

ると図書館は大変混雑し、良い席を確保するために、開館前から来る人もいるほどです。

しかし、図書館は勉強するためだけの場所では

ありません。小説や新聞、雑誌を読んだり、授業の合間に昼寝をする事も出来ます。また最近はやりの鑑賞も出来る様になり、くつろぎの場所としての利用も可能です。

図書館の本や雑誌の種類は年々充実してきてい

る様に思います。新入生の皆さんが3回、4回生に成る頃にはさらに快適に利用できる施設になっているのではないでしょ

うか。

皆さんも、そんな図書館を自分なりに有効に利用し、楽しい大学生活を送って下さい。

図書館は勉強するためだけではない

薬学部薬学科98年卒 大日本製薬(株)勤務

おおたにしんじ
大谷 真司

入学した頃、図書館の存在は知ってはいたものの、わざわざ足を運ぼうとは思っていませんでしたが、レポートの作成をきっかけとして、以後、利用するようになりました。図書館の環境は想像していたよりもずっと広く、座席も個別に区切られていたので作業に集中することができたのです。また、5、6階という位置は眺めが良いので、しばしば外の景色に見入って時間を忘れることもありました。

私が実際に時間に余裕が出て、好きな分野の学習ができるようになったのは3回生を過ぎた頃か

らだったのですが、授業のない日や空き時間を利用しては図書館に通い、資料を集めたり、興味のある本を読んだりし、卒論作成の際

には、卒研貸出し（1ヶ月貸し出し）を利用し、わたしにとってはなくてはならない存在であった

のです。昨年にはインターネットを利用した検索も導入され、新入生の皆さん方には、活用する機会も多くあることでしょう。図書館を大いに利用して、自分なりの活用法を見い出して下さい。

自分なりの活用法を見い出す

法学部98年卒 大阪府警察本部勤務

なか いしゅんじ
中井 順士



～ 自 著 を 語 る ～

『水の消毒』

金子 光美著
財団法人日本環境整備教育センター 1997年刊 (518.12 K)工学部経営工学科教授
金子 光美

腸管出血性大腸菌O157は、1昨年の堺市の事件などでよく知られているが、最近では水が関係する病原体の事件が多発するようになってきた。1996年にはレジオネラ菌によって2名の死亡者が病院で出て6月には埼玉県の人約1万4千人の越生町で7千人以上の下痢性患者が発生する事件が起きた。これは、クリプトスポリジウムという原虫（単細胞の原生動物の病原体）によって引き起こされた。水以外による微生物の恐怖は、エイズやインフルエンザをもたらすウイルスがよく報道され、素人にも知られるようになってきたが、水経由の感染症も世界的に同時多発的に広まりつつある。

とくに、クリプトスポリジウムは消毒抵抗性が強く、米国、英国その他近代技術の先進性を自負する国々でも10年ほど前から問題になっている。自分の国の水は安全で、外国に行くときには生水を飲むのは止めましょうという日本（これは神話で事実と反することを知ってほしい）でも上記のような事件が起きた。しかも感染率80%近いのは脅威的で、この分野の関係者の間では世界的に有名になった事件である。これもわが国だけは安全という変な思い込みにより油断していた結果である。

この事件をきっかけにして、わが国の水関係は

一斉に病原体に対して動きだした。環境庁は環境基準の微生物指標、建設省は下水の処理水の安全性について検討し始めた。しかし何といっても、水道水は直接経口摂取するものであるので、クリプトス

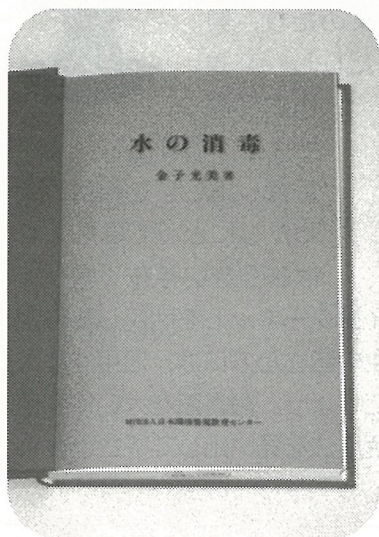
ポリジウムの水道に与えた影響は深刻で、既存のシステム的大幅な見直しを開始された。

水道水（下水でも同じであるが）の安全性は、処理工程の最後に消毒プロセスを設けることによって維持されている。一方、クリプトスポリジウムは消毒抵抗性が強い。わが国では塩素消毒が義務付けられているが、通常の塩素注入量の数百倍も注入しなければならないので、塩素で制御することは不可能である。それならばどうしたらよいか。

また、世界的傾向からみて原虫の他に問題になりそうな病原体にウイルスがある。ウイルスは体が小さいのでコレラ菌、赤痢菌あるいはO157のような細菌より、水処理工程を通り抜けやすいし、クリプトスポリジウム程ではないが細菌類より消毒抵抗性が強い。そのため、消毒までのプロセスと消毒そのものの適用技術が重要となる。

水道は施設の大部分が目に見えないので気付かない人が多いが、工学的システムとしては巨大なものである。そこから出る製品の安全性を保証するのが消毒技術である。地味ではあるがその消毒技術を支える必要性を感じて長年研究して来たものをまとめたのが本書である。それがたまたまいろいろの微生物事件の発生と事件が合致し、関係者の間で本書が注目されているが、事件が発生したから書き上げた本でないことを断っておく。大半が自分の実験に基づいたものであり、本の内容は短時間に仕上がるものではないことは読んでもらえればわかるはずである。論文や本は自分が汗を流した結果に基づいていなければならないというのが私の信念である。

消毒ということを通して水の微生物的安全性をどのようにして確保したらよいかを記述した本である。やや専門性が強いので一般書店でなく日本環境整備教育センターというところから出版されたことが示すように、気軽に寝ながら読むというわけにはいかない。しかし、これから水あるいはそれに関連する分野を専門にする学生には機会を見付けて読んでもらいたいと思う。



～ 自 著 を 語 る ～

『エミリー・ディキンソンを読む』

岩田 典子著

思潮社 1997年刊 (931 D)

いわた みちこ

国際言語文化学部教授 岩田 典子



先年、評伝『エミリー・ディキンソン—愛と詩の殉教者』を書いたとき、ディキンソンの詩がどうして生まれてくるのかを知ることが出来た。

そして一つの素朴な疑問が残った。アメリカ人でも難解だといわれるディキンソン(1830—86)の詩に、日本人の私が、なぜ感動するのだろうか。私なりの答えは、ディキンソンも手紙の中で言っているように、詩がイメージとして、「メロディーや—魔法のように」私の心に伝わってきたからである。まさに私は彼女の魔法にかかったといっている。

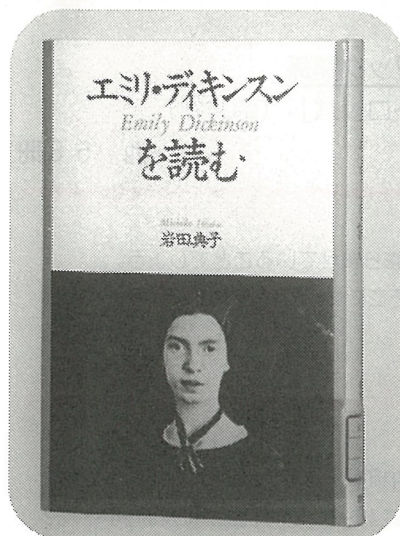
そのときから、幾通りにも解釈が可能なように見えるディキンソンの詩をゆっくり読んで、ディキンソンの魔法の種明かしを知りたいと思った。

天性の批評眼、反逆精神、ユーモアのセンス、強靱な精神力、これらディキンソンの人生のまだ若い頃よりすでに光っていた能力も、ディキンソンの詩を理解するには欠かせないことである。

しかしディキンソンは今から百年以上も昔、女性に参政権もなく、自由に発言することもままならなかった十九世紀中頃に生まれ育った。だからディキンソンが詩人という表現者としての道を歩もうと決めたことは、とても厳しい人生を自らに選び取ったということになる。

このように見ていくと、やはりディキンソンの

詩への肉付けのためにも、1章には彼女の小伝を書いて、読者にディキンソンのどのような体験が彼女に詩を書かせたのか、彼女を取り巻く人々を、社会を、聞いてもらうことにした。



ディキンソンが残したものは、日記は遺族が焼いてしまったので、詩作品と手紙だけである。彼女の手紙を多用して出来るだけディキンソンの生の声を聞こうと試みた。すると、当時の詩壇や社会に反旗をひるがえし続け、自らを「反逆児」と呼んで、マイナーなものに共感し、その力を信じていた一人の人間であり、女性である詩人ディキンソンが浮かんでくる。

2章では、ディキンソンが詩という表現の中でどのような真実と可能性を見出していったかを具体的に見ていくために、書かれた1775篇の詩の内、珠玉の32篇を読んでいくことにした。55歳の生涯を、深窓の令嬢としてほとんど家の中で家事をして過ごした人だが、詩のテーマは自然、愛、恍惚、絶望、死、不滅、神、意識、詩作、人生、社会風潮など多彩でその旺盛な好奇心に脱帽する。

訳詩を試みた後、ディキンソンの原稿を並べてみた。無口で内省的なアメリカ北東部出身の詩人らしい出来る限り言葉を省略した簡潔なその詩表現が面白い。

原詩はカンマやピリオドの代わりに、ダッシュがやたら多く、固有名詞でもないのに大文字が詩行に何度も出てくる。文法や韻律法を無視してまでも、自己の内なる真実を書こうとした。それもこれも「私の詩は衣装をとると一際立たせることができますが、ガウンを着せますと—皆同じように見え、表現がなくなってしまうのです」というディキンソンの「私の詩が生きているかどうか」を大切に考える詩学から出たものである。

ディキンソンの生前10篇の詩が活字になったが酷評を受け、1冊の詩集も出版することがなかった。そして今世紀になって、「古今を通じて英語で詩を書いた最大の女性詩人」、現代詩の先駆者といわれるようになった。

この本を書きながら、私は自分に正直に生きようとする彼女にどれほど励まされたことだろう。幸せな時間であった。

〈後期休日開館結果と今後の予定〉

図書館では、前期期末試験に続き、後期期末試験における休日開館を施行しました。結果は右表のとおりでした。

1月15日(祝)の利用者が本館・分館とも少なくなっているのは、当日風雨の激しかったことが影響したようです。

図書館では、前期および後期の休日開館の利用を踏まえて、次年度の休日開館を検討したいと考えています。

	実施日	入館者数(人)
本館	1月15日(祝)	49
	1月25日(日)	150
	計	199
分館	1月15日(祝)	97
	1月18日(日)	120
	1月25日(日)	343
	計	560

後援会寄贈図書 — 学生用図書551冊の寄贈 —

例年、本学後援会から図書館に対し、学生用図書を中心に寄贈いただいておりますが、今年度もつぎのとおり寄贈いただきました(総額1,736,802円)。

ここにご紹介すると同時に、感謝の意を表したいと思います。

1. 専門教育関係

「イギリス革命とフランス革命シリーズビデオ」全5巻(ジエムコ出版)
他 157冊

2. 辞典および解説書関係

「CD-ROM 広辞苑」(岩波書店)
他 25冊

3. 資格試験関係

「薬剤師国家試験 ショート・ショート基礎薬学I」坂本正徳編著
(廣川書店) 他 7冊



4. 文庫本

「ハムレットは行方不明」 赤川次郎著
(集英社) 他 299冊

5. 旅行ガイドブック関係

「個人旅行ヨーロッパ」(昭文社)
他 58冊

編集後記

- ・新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから始まる大学生活に期待で胸を膨らませていることでしょう。また、不安もいっぱいあることでしょう。そんなときは、図書館に来てみて下さい。そこに並んでいる本がきっと皆さんの不安を解消してくれるでしょう。図書館員はそのお手伝いをします。
- ・今号にご協力いただいた皆様に心から感謝いたします。(S. T)

摂南大学図書館報「学而」No.53 1998.4

編集・発行 摂南大学図書館 本館 〒572-8508 大阪府寝屋川市池田中町17-8 TEL. (0720)39-9112
 枚方分館 〒573-0101 大阪府枚方市長尾峠町45-1 TEL. (0720)66-3102
 印刷 (株)ミトヨ 〒534-0002 大阪市都島区大東町2-13-10 TEL. (06) 922-1178